

＝対外進出を成功に導くためにはどうすればよいか！主催：SumTotal/NYH＝

# Global Strategic Management Seminar

—日本企業の海外進出の成功要件とは何か！—

Key Note Speech (13:00～13:30)

## 「日本企業の海外進出を成功させる要点とは何か！」

国連支援交流協会 事務局長理事 土瀬戸 邦洋 氏

(略歴) 1958年鹿児島生まれ。国際協力専門家。1996年以降、中国国有工場近代化プロジェクト、モンゴル国食糧増産支援・鉱工業開発プロジェクト等でJICAより専門家として派遣される。また1998年より国際化にともなう研究者、研究生の日本受入に関するモンゴル、ウズベキスタン、ベトナム等との二国間協議等に受入機関事務局長として参加。1999年国連支援交流協会理事に就任。中国、モンゴル、オーストラリア、ベトナム、島嶼国等の支部開設に尽力。JICA、社会生産性本部の国際協力専門家として登録(財務管理、原価管理、経営管理)。天安門事件以降、中国の対外開放政策に協力、中央政府公認投資諮詢のライセンスを授けられる。以後、日中両国において投資セミナー講師を担当。1995年ミャンマー・カンボジア投資セミナー講師、1996年タイ国興行投資セミナー講師、1998年モンゴル国産業農業省投資セミナー講師ほか。2002年学校法人駒澤大学非常勤講師。2003年社団法人国際墨画会理事就任。2004年ベトナム、2005年オーストラリア、2006年リアニア、エストニア、スロバキア、2007年ポーランド、アイルランド、2008年中国にて展覧会を開催。

Case Study (13:30～14:50)

講師：豊増 浩明 さん

### 日本のマネージメント、日本以外のマネージメント

大学卒業後、日系コンピュータメーカーに入社。製造業営業部門の海外部に配属され国内で勤務の後、10年間にわたる海外勤務(アメリカ4年、ベルギー2年半、イギリス3年半)を経験。イギリス勤務時には子会社の責任者を兼務し、多様な要員の能力を結集し、事業運営と課題解決にあたった実績を持つ。

講師：高橋 理恵 さん、Starbucks Coffee Japan, Ltd. Director



### 外資系企業が日本市場で成功するポイント

国際基督教大学教養学部卒業、英国国立レスター大学院修了(MBA)三菱銀行、ビジネスインターナショナル、CRG、プライスウォーターハウスクーパースを経て、現在スターバックスコーヒージャパンにて組織人材開発を担当。グローバルとのインターフェイス、リーダーシップデベロップメント、また組織風土改革・組織開発支援としてビジョン・メーカーと組織再編などを受け持つ。

講師：王 永林 さん



### 中国に進出する日本企業が知っておくべき基本的常識とはなにか？

中国黒龍江省生まれ。東北林業大学林業機械部卒業後、国営会社中国林業部昆明人工板機械工場に勤務、1990年中国国家観光局通訳ガイド試験に合格、中国雲南省中国旅行社日本部で日本人観光客ツアーの世話役、旅行手配などを開始。2003年より100%中国資本の中国の会社の日本拠点中国国際旅行社(日本)訪日旅行部で活躍中

講師：ADEKOJE Olumide さん、CEO・Mideco Group Corporation



### 米国と日本企業の雇用方式の違い、海外を意識したHRMの考え方

Born in St. Paul, Minnesota, U.S.A., Adekoje has also lived in Australia, Japan, and Nigeria. He holds a master's degree in Commercial Diplomacy from the Monterey Institute of International Studies, Monterey, California, U.S.A. Adekoje has worked on trade related projects at both the Japan External Trade Organization, and the U.S. Department of Commerce.

コーヒープレイク:14:50～15:10

Discussion :海外進出のKSFとは何か(15:10～16:30)



ファシリテーター：サムトータル・システムズ株式会社 代表取締役社長 竹田 謙二

(略歴) 1962年生まれ、青山学院大学卒業、トッパン・ムーアシステムズ、日本オラクル時代に7年間の海外赴任経験を持つ。その後ピープルソフト、システムズユニオンを経て2007年より現職。ソフトウェア業界における25年間の経験を生かし、日本法人におけるセールス&マーケティング、サービス、サポート等の全オペレーションを統括。



ファシリテーター：NYH代表取締役社長 名方 幸彦

(略歴) 1952年生まれ、慶應義塾大学文学部卒業、信州大学大学院修了(経済学修士) 海外広報の専門企業IBI社を経て、人事コンサルタントとしてCRG、プライスウォーターハウスクーパース社を経験、2001年独立。わかりやすい語り口で評判の人事コンサルタント。大手企業の海外PR戦略立案、人事制度改革、各種トレーニングを実施指導した大手企業は30社を超える。現在NPO法人の事務局長として教育のコミュニティスクールも同時に運営。NPO法人国連支援交流協会会員

# 対外進出を成功に導くために！

## Global Strategic Management Seminar

時間：2010年2月9日(水) 13:00～16:30 (12:45 受付開始)

場所：アルカディア市ヶ谷 5F 大雪東の間 (03-3261-9921)

会費：無料

### 主旨

失われた20年といわれる日本経済の低迷期を経て、多くの日本企業も重い腰を上げはじめました。それは、低迷・縮小する日本市場を踏まえつつも、アジア・世界に市場や人材を求め動きはじめたことです。しかしながら、戦後海外進出した企業が抱えてきた課題はほとんど解決されずに残っています。それは、企業規模の大小を問わずマネジメントの現地化が遅れていることにつきます。この課題は60年代の製品輸出、70年代の海外生産、そして1985年のプラザ合意以降、日本企業の海外進出が加速されてきた中でも一貫して、現在に至るまで殆ど変わっていません。日本企業の成功要因であった日本的経営をそのまま海外に持ち込むことで、逆に現地との摩擦を呼び起こし、その結果として撤退を余儀なくされた企業は少なくありません。

この理由は明確です。殆どの日本企業は国内における人事組織システム(長期雇用、年功制等)をそのまま海外に移行させたからです。従って課題解決策も明らかです。グローバルに通用している人事・組織制度を導入すればよいのです。そして、それをサポートするシステムを導入すればよいのです。

今回のセミナーでは、日本市場の特徴と現地マネジメントの特徴を講師の話から抽出し、その対応策を、人事制度とシステムとして提示します。

海外進出で課題を抱えている企業、また、今後海外展開を考えている企業の皆様、ご関心のある方はぜひご参加ください。

### 内容

- ◇ 日本企業の海外進出をサポートしてきた専門家から海外進出の課題を提示していただきます。
- ◇ 日本企業で海外展開をしているメーカーのケースについて語っていただきます。
- ◇ 日本に進出して成功を収めている外国系企業の日本市場への対応例を語っていただきます。
- ◇ 日中間のビジネスの考え方の差異について中国人の視点からポイントを指摘していただきます。
- ◇ 米国のビジネスマンの視点から日米雇用システムの違いを指摘していただきます。
- ◇ 最後に、SumTotal社竹田とNYH社名方がファシリテーターをつとめ、参加者をまじえて、日本企業に必要な海外進出のKSFについて、幅広く意見交換し、問題解決策を提示します。

#### 主催者プロフィール:

- サムトータル・システムズ株式会社 概要:米国フロリダ州ゲインズビルに本社を構える、完成されたタレントマネジメントソリューションのグローバルリーダー。詳しくは <http://japan.sumtotalsystems.com> 参照
- NYH[有限会社エヌワイ・ヒューマンドットコム] 概要:人事コンサルタントの名方幸彦が2001年9月に設立した人事コンサルティング会社。詳しくは、HP:[www.ny-human.com](http://www.ny-human.com) 参照